

## 1 4 階 健診センター（胃透視検査）

胃透視検査では始めに、胃を膨らませるための発泡剤を飲んで頂きます。続いて飲んだバリウムが食道を通過するときに食道撮影を行います。

次に、空気で膨らんだ胃にバリウムが溜まった状態で体を回転させることで胃粘膜の表面にバリウムを薄く付着させ胃全体を様々な方向から撮影します。

胃粘膜に薄く付着したバリウムにより、癌・潰瘍・ポリープなどの細かい粘膜病変を発見することができます。検査時間は通常 10～15 分程度です。

検査を受ける前の準備としては、前日の夕食は 20 時までに済ませて頂きます。それ以降は検査が終了するまで絶食です。飲水に関しても前日の 20 時から検査が終了するまで絶飲です。胃の中に食べ物や水が残っていると、十分な観察ができず正確な検査が出来ませんので胃透視検査の説明をよく読んで、間違えないようにご準備ください。

当院の健診センターでは検査を担当する診療放射線技師が毎日装置の点検を行っています。検査中は分かりやすい説明を心掛け、被検者の方が安全に検査を受けられるように最善を尽くしております。

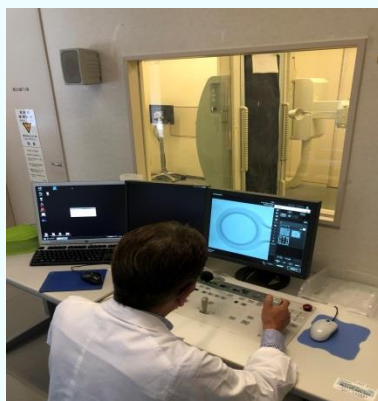


検査中業務

バリウムと発泡剤を飲んでいただいた後、息どめの合図に合わせて撮影を行います。



実際の撮影



始業点検

装置が正常に動作するか、毎日点検しています。



検像業務

検査後、撮影した画像を確認し画像サーバーへ転送します。